みんなに伝える平和への想い

ペンネームまたはイニシャル

平和を守る子

8月6日、8月9日は広島、長崎の原ばくの日です。被ばくから75年となる8月6日、私は母と一しょに太田市の平和資料てんに行きました。広島、長崎、沖縄の写真を見ました。昨年ピースクラブで行った無言館を思い出しました。戦争によって多くの人々の命がうばい取られてしまったことを目にしました。原ばくがそう下され一しゅんにも死んでしまった人、命は助かっても大やけどや大ケガに苦しみながら死んでいった人、原ばく病にかかりつらい治りょうを受けながら死んでいった人、大切な家族を失くしてしまった人。数えきれない多くのぎせい者の中で佐々木禎子さんに出会いました。禎子さんは2才の時に、ひばくし10年後に白血病にかかり12才でなくなりました。私はいけばなで禎子さんのことを知りたくなり、すぐに図書館に禎子さんの本を借りに行きました。禎子さんは白血病で入院中毎週検さ、されるさい血の結果を書きとめていました。つるを千羽折ると病気が治るんと病気の回復を願いながら包み紙などで死ぬまで折り続けました。禎子さんの生きたい気持ちを分なえてあげたかったです。かわいそうで悲しくてなみだが出ました。どうして戦争になってしまったのです？戦争は悲しい悲しい。つらいつらい。苦しい苦しい。イヤイヤ。こわいこわい。戦争大きらいです。戦い争い殺し合いはもうやめてください。私は禎子さんの分まで友達と仲良くします。世界中の人達と仲良く生きたいです。世界中のみなさん仲良くしましょう。